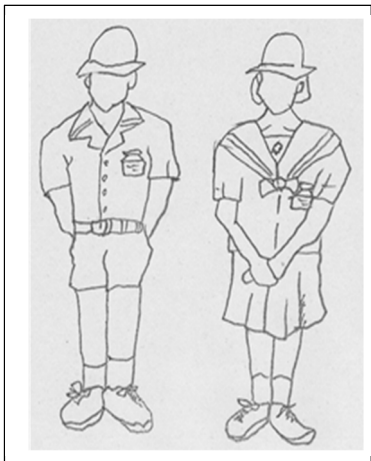


- ◎ 制服以外に身に付けるものについては、無地のもの（キャラクターや模様、ライン、レースや飾りボタン等の装飾がないもの）とする。特に、靴下とカーディガンについては、小さなロゴ等のワンポイントも不可とする。
- ◎ 身に付けるものにも、全て記名をする。
- ※ 上ばきについては、上から見える位置とかかとの2か所に記名をする。

冬 服



夏 服



制帽

- 登下校時は必ずかぶること。
- 【冬：男子】
 - ・ 校章入りで、帽帯は外れないように縫っておく。
- 【冬：女子，夏：男子・女子】
 - ・ ゴムをしっかりあごにかける。

襟章

- 【冬：男子】
 - ・ 左襟につける。

頭髪

- 男女とも衛生的で、華美にならない、学習の妨げにならない髪型にする。
 - ・ 前髪は、まゆにかからない程度の長さとする。
 - ・ 後ろ髪は、学習に支障のない程度の長さとし、長い場合（肩にかかる程度）には、帽子をかぶる際の邪魔にならない位置で二つ結びにする。
 - ・ 横や後ろの髪が垂れてくる場合や前髪が長い場合には、髪留め（紺・黒の飾り無し）で留める。
 - ・ 三つ編み等の髪を編み込んでのまとめ方や一つ結び、前髪を結ぶ（結んで留める）ことはしない。

学習の妨げになっていると判断される場合の例

- ・ 髪が赤白帽・水泳帽・給食帽に収まっていない。
- ・ 髪を留めたり結んだりする位置により、帽子をかぶる邪魔になったり、帽子がきちんとかぶることができない。
- ・ 前かがみになると、横・前髪がたれて、文字が隠れるなどの視野や活動の邪魔になったり制限や危険がある。
- ・ 髪やゴム・髪留めに触れることが多い。
- ・ 髪をほどいたり、結び直したりすることが自分で簡単にできない。
- ・ ※ あくまでも一例です。そのほかの場合でも、指導があることがあります。

制服

- 【冬：防寒】
 - ・ 白か黒か紺色のベストやセーター等を制服の下に着用してもよい。ただし、制服の襟や袖から見えないようにする。また、制服の下に着用するものは、気温や冷暖房を考慮して、自分で体温の調節しやすいものにする。
 - ・ 手袋、マフラー（短いもの）、ネックウォーマーを必要に応じて登下校時のみ着用してもよい。
- 【夏：男子】
 - ・ 白の下着を着用する。
 - ・ シャツはズボンのなかに入れ、ベルトを付けるなどして外に出ないように配慮する。
- 【夏：女子】
 - ・ 白の下着を着用する。
- 女子のスカートの長さは、ひざの高さとする。また、防寒等の対策として、スカートの下に黒で無地のインナーパンツ等を着用してもよい。
- ※ インナーパンツは、スパッツ等のかさばらないもの。お辞儀をした時に見えない長さのものを着用する。制服の下に体育服は着用しない。

- 学校では、制服での活動を基本とするが、始業前、昼休み時間において、活動のしやすさ・衛生面・身だしなみ等を考慮し、必要な場合はポロシャツやTシャツ（白，黒，紺色いずれかの色で、無地のもの）に着替えて活動してもよい。ただし、登下校時は制服着用とする。
- 夏服の場合は、ポロシャツやTシャツは身に付けて登校するのではなく、着替え用として持ってくる。
- 夏服の更衣は5月中、冬服の更衣は10月中に行う。更衣期間中は、天候等を考慮して白，黒，紺色のカーディガンを着用してもよい。

名札

- 胸ポケットにつける。
- ※ 登下校時は、胸ポケット内に入れる。

靴下

- 白，黒，紺色のスクールソックス（長さは、すねの辺りまで）。
- ※ 入学式，卒業式，始業式，終業式，修了式，命の集い等の儀式では、白色の靴下をはく。

靴

- 白の運動靴。

上ばき・体育館シューズ

- 上ばきと体育館シューズは、売店販売指定の上ばき（布地部分は白で、先の方にだけ色がついているもの）、体育館シューズとする。

体育着・活動着・水着・汚れてもよい服等

- 体育着と活動着は、学校で指定したのものとする。（売店で販売）
- 水着については、スクール水着を基本とする。ラッシュガードを着用してもよい。
- 汚れてもよい服は、華美なものを避け、制服の上からでも脱ぎ着ができるものがよい。